

「京都水族館（仮称）整備構想」市民意見募集について（中間報告）

1 募集期間 平成20年9月19日（金）～10月21日（火）

2 受付数等 249通

郵送65通, FAX39通, メール145通

3 意見趣旨

① 水族館への期待について

- ・ 教育施設, 娯楽施設, 観光施設, 癒しの施設として期待
- ・ 来園者が増加し公園の活性化と商店街など周辺地域の活性化につながる。
- ・ 子供や親子連れ等が利用しやすい施設を。
- ・ 今までの水族館にはない新たな発想を, 特徴を。(他の水族館との差別化)
- ・ 水に触れる場所を他の水族館よりも多く。五感を刺激するような水族館を
- ・ 京都らしい展示の工夫, 淡水魚の展示を。
- ・ 子供のときから数多くの水生動物を見学することが将来に役立つ。

② 水族館の必要性について

- ・ 海のない古都京都に水族館は相応しくない。
- ・ 観光客が京都へ来るのは歴史や文化に触れるためであり, 水族館へは来ない。
- ・ 水族館は観光（レジャー）施設であり, 梅小路公園の施設としては異質

③ 入場料について

- ・ 高額の入場料では市民が頻繁に行くことは考えにくい。
- ・ 市民には割引制度の導入を。
- ・ ポイント制など入場料やイベント参加料に環境や自然を守る仕掛けの導入を。

④ 環境負荷について

- ・ CO₂を排出する水族館の設置はCOP3開催都市, 環境モデル候補都市である京都市の環境政策に逆行するもの。時代に逆行するもの。
- ・ CO₂削減のためにも, 緑を守り, 緑を増やすべき。

⑤ 給排水について

- ・ 人工海水による運営は可能か。
- ・ 排水の塩素濃度による下水道・下水処理場設備等への支障は。
- ・ 周辺には地下水を利用して商売されている方もおり, 水質汚濁は死活問題

⑥ 交通アクセス等について

- ・ 公園の立地が悪く、交通アクセスの整備が課題。200万人の入場者は現在のアクセスでは無理
- ・ JR新駅の設置、シャトルバスの運行を。京都駅等からのアクセスは。パークアンドライド・新交通体系の導入を。
- ・ 駐車場の確保は。
- ・ 渋滞対策、違法駐車対策、小学校通学路の交通安全対策は。

⑦ 財政負担について

- ・ 財政状況が厳しい中で、市民が安心して暮らせる街づくりを優先すべき。
- ・ 箱物は不要。何年もしないうちに赤字になるのは目に見えている。
- ・ 入場者予測数は楽観的すぎ。京都で200万人は無理
- ・ 経営破綻の際の危険負担を明確にするべき。市民負担となることのないように。

⑧ 現状の公園の維持について

- ・ 現在の梅小路公園の緑を守るべき。もっと緑を増やすべき。
- ・ 市民の憩いの場を壊さないでほしい。
- ・ 広域避難場所としての機能保持を。
- ・ イベントスペースがなくなる。
- ・ 大切な市有地であり、市民のための有効利用を慎重に検討してほしい。

⑨ 水生動物について

- ・ 海の生物は自然の海の中で生きるべき。
- ・ 動物愛護と子供への教育の観点からも人間のエゴである。

⑩ 梅小路公園以外の場所での建設について

- ・ 近隣に住宅、学校等がない場所で建設してほしい。
- ・ 大きな駐車場が確保でき、交通渋滞が起きない場所で建設してほしい。